

第 148 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 4 年 2 月 9 日（水）13：10～14：10

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

・会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

<その他>

- ◇ 文化観光スポーツ部から、令和 4 年度の水際対策について報告があった。
- ◇ 総括情報部から、まん延防止等重点措置の方向性を検討するスケジュールについて報告があった。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、松永 企画振興統括監、松田 環境部長、金城 県警警備二課長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、下地 農政企画統括監、金城 土木企画統括監、下地 産業振興統括監、真鳥 観光政策統括監、大城 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、諸見里 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監、高山 政策参与、テレビ会議システム利用：木村 宮古保健所長、比嘉 八重山保健所長

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から最新の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】
 - ✓ 2/8 の新規発生 682 名、合計 87,788 名、入院中 372 名、うち重症 3 名、うち中等症 244 名、入院・療養等調整中 677 名、宿泊施設療養中 413 名、自宅療養 4,100 名、入院勧告解除確認中 28 名で療養中患者計 5,590 名となっている。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、米軍基地内における発生状況について報告。【資料 2】
 - ✓ 2/8 時点、米軍基地内で 17 名。

- ✓ 12/15以降、米軍基地において7,228名の陽性者が確認されている。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料3、3-1~3-10】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。
 - ✓ 判断指標について、新規陽性者数（直近1週間合計）はレベル4、病床使用率はレベル3、重症者用病床使用率はレベル2となっている。
 - ✓ 先週、先々週と比較して、新規陽性者数、病床使用率、重症者用病床使用率等の各指標の数値は徐々に改善してきている。
 - ✓ 直近1週間の新規陽性者数の前週比は0.68倍となっている。
 - ✓ 一般病床の使用率は94.6%となっている。
 - ✓ 直近1週間の人口10万人あたりの新規陽性者数は291.22(全国23位)であり、全国平均を下回っている。
 - ✓ 重症・中等症者数について、1/29の週までは増加が続いていたが2/5の週は減少に転じている。
 - ✓ 患者受入医療機関の就業制限（休業）の状況については、濃厚接触者の健康観察期間の短縮に伴い、1/15の週以降、減少が続いている。
 - ✓ 推定感染源が飲食関係の陽性者数については、1/10の週以降、減少が続いている。
 - ✓ 沖縄県疫学・統計解析委員会の報告によると、実効再生産数については、沖縄本島0.74、宮古0.74、八重山0.49となっており、流行は縮小傾向にある。
 - ✓ 1/1から2/6までに新型コロナウイルスへの感染を確認した死亡者は12人であった。
 - ✓ 死亡者のうち、7名が入所施設における感染であった。
 - ✓ 今後の見通しについて、現状の実効再生産数が維持された場合、2/20までに重点措置を解除する目安（10万人あたり200人/週以下）を下回ると予想され

る。

- ✓ その他に、重点措置が解除された宮古地域については再流行がないよう徐々に活動を再開すること、旧十六日祭では多人数で高齢者を訪問することや会食することを避けること、帰省などで訪問客を受け入れる際は事前の検査で陰性を確認することについて注意があった。

(4) 宿泊施設の運用状況について【資料4】

- 総括情報部から、宿泊療養施設の入居状況等について報告。
 - ✓ 那覇市内では6施設が稼働しており、298名が療養している。
 - ✓ 中部地区では1施設が稼働しており74名が療養している。
 - ✓ その他に、北部で9名、宮古で22名、八重山で9名が宿泊施設療養中となっている。

(5) 沖縄県人口変動状況について【資料5】

- 総括情報部から、KDDI Location Analyzerによる分析結果を報告。
 - ✓ 商業エリア、空港エリアでは人流が減少しているものの、繁華街エリアは増加傾向にある。

(6) クラスターの発生状況について【資料6】

- 時間の都合上、説明を割愛。

(7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料7】

- 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。
 - ✓ 宮古地区ではこの2日間で60名程度の陽性者が確認されており、人口10万人あたりに換算すると200名を超える状況である。

- ✓ ただし、高齢者施設等の特定の場所・集団内での感染者が多く、感染経路不明の割合は大きく増えていない。
 - ✓ 年代別では、高齢者と10歳未満の子どもがそれぞれ20%程度を占めている。
 - ✓ クラスタ対応中の事例が5件あるが、その内の3件については落ち着いてきている。
 - ✓ まん延防止等重点措置区域については解除となるが、流行の再燃の恐れもあることから、関係機関等へ協力の継続を要請しているところである。
- 八重山地方本部から八重山地域の感染状況等について報告。
- ✓ 八重山地域では感染者が徐々に減少してきており、人口10万人あたりに換算すると230名程度となっている。
 - ✓ 年齢別では、10代及び10歳未満が感染者の3割程度を占める状況が継続。
 - ✓ 高齢者が占める割合は1割程度となっており、高齢者施設等での集団発生も確認されていない。
 - ✓ 現在、管内の3病院について、検査の実施状況の聞き取り調査を実施しているところである。

(8) PCR検査事業の状況について【資料8】

- 総括情報部から、検査事業実績について報告。
- ✓ 1/29～2/4におけるエッセンシャルワーカー定期PCR検査の実績については、介護関係者8,087人が受検した結果、22人が陽性であった（陽性率0.27%）。また、障害者施設関係者6,072人が受検した結果、16人が陽性であった（陽性率0.26%）。保育施設関係者については、2,480人が受検した結果、10人が陽性であった（陽性率0.40%）。
 - ✓ 安価なPCR検査補助の実績について、1/28～2/3は3,818人が受検した結果、

陽性者 148 人、陽性率 3.88%であった。

- ✓ ワクチン検査パッケージの実績について、1/29～2/4 は 2,871 人が受検した結果、陽性者 197 人、陽性率 4.33%であった。
- ✓ 一般無料検査の実績について、1/29～2/4 は 11,831 人が受検した結果、陽性者 585 人、陽性率 4.94%であった。
- ✓ 学校 PCR 検査の実績については 2,417 人（170 校）が受検した結果、陽性者 56 人、陽性率 2.32%であった。

（9）ワクチン対策チーム進捗状況報告について【資料 9】

➤ 総括情報部から、住民向けワクチン接種進捗状況等について報告。

- ✓ 2/7 時点で 1 回目のワクチン接種が完了した人は 1,045,709 人となっており、接種率（県全体）は 70.4%となっている。
- ✓ 2/7 時点で 2 回目のワクチン接種が完了した人は、1,032,374 人となっており、接種率（県全体）は、69.5%となっている。
- ✓ 2/7 時点で 3 回目のワクチン接種が完了した人は、105,151 人となっており、接種率（県全体）は、7.1%となっている。

※高齢者の接種数は 63,024 人（19.0%）となっている。

- ✓ 2 月までの追加接種対象者累計数に対する接種率は 30.04%となっている（全国 4 位）。

（10）空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の運用状況等について【資料 10】

➤ 文化観光スポーツ部から、空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の状況について報告。

- ✓ 空港 PCR 検査プロジェクトについて、1/31 の週の受検者は 2,516 名で、その内 29 名が陽性であった。

- ✓ 那覇空港抗原検査について、1/31 の週の受検者は 344 名で、その内 1 名が陽性であった。
- ✓ TACO について、1/31 の週のサーモグラフィー通過者は 61,725 人で、その内発熱者は 0 人であった。
- ✓ RICCA について、2/4 時点の登録者数は 136,096 人となっている。

(1 1) その他報告事項について

- 病院事業局から、県立病院の状況等について報告。
 - ✓ 2/8 時点の県立病院の入院患者数は 112 人であり、新型コロナ病床の稼働率は 46.9%となっている。
 - ✓ 北部病院からは、修学旅行生の感染事例が確認されており、クラスター事例とならないか注視しているとの報告があった。
 - ✓ 宮古病院からは、まん延防止棟重点措置区域は解除されるが、高齢者施設やダイニングショップにおいて感染事例が続いており、感染の再燃が心配されるとの報告があった。

3 その他

(1) 令和 4 年度水際対策について

- 文化観光スポーツ部から、令和 4 年度水際対策について報告。
 - ◆ 発熱者感知対応から無症状者の希望調査へ対応を変更
 - ✓ サーマグラフィー発熱感知業務の手法をスタッフの監視からセルフチェック方式に変更する。それに伴い TACO の案内表示を設置する。
 - ✓ 旅行者の健康相談対応及び空港の感染懸念者対応は、看護師を増員する。
 - ◆ 県内空港検査体制について
 - ✓ 那覇空港では、通常時に 1,000 件（PCR 検査：300 件、抗原検査：700 件）の検

査を実施しているが、感染拡大期には1,500件（PCR検査：500件、抗原検査：1,000件）へ拡大する。

- ✓ また、検査時間を9時～23時へ拡大する。※現在は9時～21時
- ✓ 宮古空港、新石垣空港、下地島空港については現地検査機関の活用により、検査判明の迅速化（1日短縮）及び検査枠の拡充（300件→500件）を図る。

◆ 旅行前の出発地における検査態勢の整備及び制度の構築について

- ✓ 引き続き、旅行前の出発地検査体制整備等について、国への要請を行う。
- ✓ 旅行者に対する旅行前検査受検について周知広報を実施する。

（2）今後のスケジュールについて

➤ 総括情報部から、今後のスケジュール等について報告。

- ✓ 2/8時点で人口100万人あたりの新規陽性者数は、県全体286.24人、本島294.62人、宮古208.23人、八重山233.02人となっている。
- ✓ 八重山以外の地域では、新規陽性者前週比が1を下回る日が7日以上継続している。 ※八重山は新規陽性者前週比が1を下回る日が5日間継続中
- ✓ 感染者数が減少傾向にあり、この傾向が継続した場合、人口10万人あたりの新規陽性者数については2/13ごろに基準値である200を下回ると予想される。
- ✓ また、病床使用率も2/14ごろに基準値である50%を下回る見込みである。
- ✓ 以上の状況を踏まえ、まん延防止等重点措置の今後の方向性について次のスケジュール（予定）で検討を行う。

2月13日（日）：感染症対策専門家会議の開催

2月14日（月）：経済対策関係団体会議の開催

2月15日（火）：第149回沖縄県新型コロナ対策本部会議の開催

4 閉 会